

## 2月議会に計上されている平成30年度新規予算(案)の一部をご紹介

◎小倉都心地区夜間の照明改善やライトアップ  
5,000万円



◎20代・30代で初めて転職を行う人たちを  
市内企業への就職を促進  
900万円

◎若戸大橋・若戸トンネルの無料化（30年末予定）  
30億円



～ご興味のある内容がありましたらお問い合わせください～

**中村よしお事務所**

〒802-0043 北九州市小倉北区足原2丁目1-39  
**TEL (093) 932-8533 FAX (093) 922-8277**  
E-mail●nakamura-y3226@nifty.com URL●http://www.nakamura-yoshio.jp/

◎官民データ活用のため「(仮称)北九州市官民  
データ活用推進計画」を策定  
200万円

◎船場町の旧小倉ホテル跡地を多彩なイベント  
が開催でき、憩いの空間としても活用できる  
広場を整備  
4億7,200万円

◎放課後学童保育クラブに、新たに夏休み等の  
「長期休暇中のみ」に利用する児童の受け入  
れを実施  
900万円

◎高齢者の運転免許自主返納を進めるため  
「高齢者運転シミュレーター体験教室」や  
「運転免許自主返納支援パンフレット」を作成  
600万円



◎耐震性能がある既存住宅を購入または賃借して  
エコや子育て・高齢化対応に資するリフォーム  
工事を実施する費用の一部を補助

4,000万円

# 北九州リハビリ報告 | vol. 32

北九州市議会議員 中村 よしお

2018.3.10

## 中村よしおが 北九州市の 夢を語る！

北九州市は今まで少子高齢化、政令指定都市一の高齢化率、人口減少日本一、都市の衰退等マイナスの話が多かったような気がします。しかし、これから北九州市はまだまだ大きく発展していく、プラスに転じる可能性を大いに秘めていると私は考えています。

今回はこれからの北九州市がどう発展していくのかをテーマに私の夢も含めお伝えしていきます。

### ピンチはチャンス！

人口減少や少子高齢化など一見大きなピンチを迎えている北九州市。しかし日本の歴史を見てみても、実はピンチはチャンスなのです。明治維新後、海外の諸外国と対抗するため鉄を中心に日本は大きく発展しました。その象徴が官営八幡製鉄所です。これに伴い北九州市も発展しました。第二次世界大戦後の焼野原になったあと、高度経済成長期を迎え再度発展、北九州市は四大工業地帯としてこの発展を支えてきました。

現在迎えている少子高齢化、人口減少による生産年齢人口（15歳～64歳）の減少、労働力不足による経済の衰退、ピンチを迎えているように見えますが、前述の様にピンチがあるから大きく変わるチャンスになるのです。このピンチを技術革新で乗り越えることで、北九州市は大きく浮上することも考えられると思います。



「第5回北九州マラソン2018」に長男とペアリレー  
マラソンに出場しました。沿道からの暖かい応援に  
は感動しました。応援していただいた皆さん、ボラ  
ンティアの皆さん本当にありがとうございました。



残念ながらバトンタッチポイント手前2km地点で  
バスに回収されました。

# ピンチを乗り越えるこれからの技術革新は？

## 1 IoT (internet of Things) が進んでいきます。

IoTとはパソコン類以外のモノ（家電等）をインターネットにつなぎ、離れた場所の状態を確認したり、その状態を変更することができます。

例えば、湯沸しポットをインターネットにつなぐことで、一日中ポットを使用しなければ、遠くに離れた親族に何かあったかもしれないということを伝えるシステムがあります。他にもインターネットにエアコン等の家電をつなぎ、制御することもできます。

介護の世界では認知症の方の居室をカメラで撮影し、起き上がり等の行動があれば介護職員のスマホにメールで連絡が入り、実際の画像をリアルタイムで見ることができるシステムができます。これにより転倒防止等のリスクを減らすことができます。



## 2 2020年、通信革命が起こります。

ドコモやau、ソフトバンク等の携帯キャリアが持つ通信システム（インフラ）と携帯端末の両方を根幹からそっくり入れ替え大幅に通信速度が向上します。

現状の4G（世代）から5G（世代）へ変わり、通信スピードは現在の約100倍になり、多接続性や低遅延（4G／0.01秒、5G／0.001秒）が実現します。

例えば伝達速度の改善により、カーナビがほぼリアルタイムになり自動運転が大きく進むことが予想されます。

ひょっとしたらドラえもんの「翻訳こんにゃく」のように携帯電話の翻訳ソフトを使い外国人と話しができるようになったらうれしいですね。

前述のIoTでは複数のモノがインターネットにつながる環境が必要です。5Gで多接続性が改善することはIoTの実現には不可欠です。

## 3 AI（人工知能）も進化しています。

人工知能は、人間の知的能力をコンピューター上で実現する技術で、最近ではAIが囲碁や将棋のトップ棋士を破っています。

人工知能の発展により情報処理の速度が早くなり、一人あたりの作業量が増える生産性の向上が見込まれます。身近なところでは画像認識が進み、iPhoneXの顔認識のように様々なところで活用されています。

## 4 官民ビッグデータのオープン化

官民データ活用推進基本法がH28.12.14施行されました。これは行政機関や民間事業者が持っている様々なデータを公開し、それをあらゆる人に利用してもらい、新しいアプリの開発等、新たなサービスやビジネスを生み出すことを期待しています。ビッグデータを解析することで、いろいろなことも見えてきます。その解析ではAIが活躍します。

## 5 ドローンが世の中を変えます。

今まで人力ではなかなかチェックが難しかった高所や危険な場所の確認、輸送を大きく変えていくと思われます。

例えば建物を建設する時に、資材をドローンで運べば足場は不要になるかもしれません。宅配もドローン、道路や橋梁等の保守点検もドローンに代わっていくでしょう。



## 6 エネルギー革命

若松区のエコタウンにある、日本環境設計株式会社を見学しました。そこでは衣服を分子レベルまで分解し、材料やバイオエタノールに変換していました。また携帯電話から金属や油を作り販売しています。ここで出来た材料は、石油等の地下資源を使わず地上資源のみで作っているという附加価値がつき、アパレルメーカーのH&Mやアディダス等の世界超一流のメーカーから取り引きの話が来ているそうです。

将来的には地下資源を使用せず、地上資源だけでまかなえるようになればCO2問題だけでなく、資源の取り合いから起こる戦争を減らすことにもつながります。



## 7 洋上風力発電

若松沖に洋上風力発電所を建設します。その近隣には響灘の産業地帯があり、そこで1基約2万点の部品作成、メンテナンスが行われます。今後、洋上風力発電は日本各所に広まることが予想され、そこへの部品の提供やメンテナンスを北九州市で行うことを目指しています。



# 『頑張れ！北九州市』

IoT、通信革命、AI、官民ビッグデータのオープン化、ドローン等の技術革新がもたらすものは、労働者の生産性が向上し、賃金アップにつなげることや労働力不足に対して高齢者や女性、障害者や外国人等の活躍につながります。

少子高齢化、人口減少というピンチを技術革新で乗り越えそれを全国、世界に売って北九州の浮上につなげていきましょう！